



令和6年5月4日 地車祭 布令番町 西之町地車宮入



ゆづるは神社社報

発行所
弓弦羽神社社務所
〒658-0048
神戸市東灘区御影郡家2丁目9-27
(旧地名：弓弦羽ノ森)
TEL 078(851)2800
FAX 078(851)2803
URL=https://yuzuruha-jinja.jp/

印刷所
(株) マテックス
神戸市中央区筒井町2丁目1-38

ご挨拶

宮司 澤田政泰

今年も、温暖化と天候不順で四月は寒暖差の激しい日々が続き、五月になれば早くも全国をあちらこちらより三〇℃を超える真夏日のニュースが飛び込んできました。五月の春季大祭は天候には恵まれたものの中は夏日(二十五℃超)となりました。そんな暑さの中でも二日間の「だんじり」運行は事故無く齎すことができました。毎年の事ながら大神様のご加護はもとより、御影連合会をはじめ各地区の総代・青年会・婦人会、更には交通安全協会・消防団等の関係各位のご協力と賜物と感謝しております。

その「だんじり」に大いに関係する事です。神社境内は毎年五月のだんじり宮入で掘り返され六月の梅雨で泥濘んで車が入れば轍がで、雨が上った後は大きく波打つ状態でした。そこで今年三月下旬に長年の懸案であった境内の地盤改良をいたしました。境内を五〇センチ掘り下げて、下より二〇センチ毎に凝固剤を入れて二回に分けて転圧をかけました。出来上りは新しい真砂土に入れ替えました。出来上りかと思いません。今までの境内のウネリが、嘘の様に平になりました。

工事完了後一か月を過ぎれば凝固剤の効果が顕れるとの事、「だんじり」宮入で結果が試されま。・・・なんと、全くと言って良いほど荒れていません。「大成功」です。地面の状態が良く全ての地区がスムーズに宮入が来た事は喜ばしい事でした。しかし、今までの様に「練り廻しの途中で後輪が地面にめり込み立ち往生・・・やっとの事で抜け出し参拝者の大喝采を受ける」そんな風情が無くなるとれば風情が無くなる、判っていたとは言え複雑な気持ちです。

さて、コロナ禍も終わり海外旅行も解禁され更には円安の効果もあり、日本ではインバウンド・外国よりの旅行者が激増している様子は報道で知るところです。私も今年、何回か新幹線で東京を往復しましたが、その車内には外国の旅行者とおぼしき人が大勢乗っています。又、京都・大阪等のターミナル駅ではその姿を見ない日はありません。経済効果は絶大ですがオーバードーズも有る名観光地のみならずSNSで地方でも突然観光客が増え対応に手が回らず被害が続出しているとか。「あちらを立てれば、こちらが立たず」他人事ではありません、両立は難しいですね。

月に一度は氏神様にお参りしましょう。
新車は必ず交通安全祈禱にご参拝ください。

御影一筋
お好み焼き
ゆくくく
0120-05-5138
御影本町4丁目5-10
078-821-5992

米工房
KORIBAYASHI
高田屋
0120-05-5138
灘の地酒・ワイン
六甲ビール・こだわり焼酎
(山手幹線沿い山側)

MAISON DECOR
メゾンデコール
東灘区御影郡家1丁目25-12
クレイスイック1F
PHONE 078-854-5810
FAX 078-854-5786
五甲駅前 AM10:30-PM6:30 水曜定休
美しい布のある暮らしを提案します

MIKAGE
CLASE

弓弦羽神社
(協)御影市場(旨水館)
(阪神電車 御影駅高架下)
神戸市東灘区御影本町4-11-10
TEL(078)841-2954
http://www.mikage-ichiba.com

おまかせください!
のぼり 幕
法被 たすき
提灯 太鼓
その他祭礼用品
株式会社 谷尾
神戸営業所
神戸市兵庫区水木通6-3-4
TEL 078-575-7721 FAX 078-575-7621

BarBer MORIOKA
床屋の技をご堪能ください。
御影で創業100年、昔ながらの町の床屋です。
祖父の代から受け継いだ丁寧な施術でご奉仕致します。
〒658-0045 神戸市東灘区御影本町4-7-11
TEL.078-854-0498
●営業時間(土・日・祝 ご予約優先制)
平日 9:00~19:30 土日祝 8:30~19:00
●定休日:毎週月曜日 第2・3火曜日
●最寄駅:阪神御影駅南側 徒歩1分

東灘区御影本町四丁目一
電話〇七八(八五二)二四四四
從享和元年
承傳 徳果子司
虎屋土呂末

YAKINIKU RESTAURANT
MIKAGE
高麗飯店
東灘区御影郡家1丁目21-15
TEL(078)842-3319
FAX(078)842-3398

池尻 池尻石材工業
一神戸支店一
神戸市東灘区御影本町4-12-28
御影旨水館内
電話 078-851-3400
http://butsuji-ikejiri.com/

補聴器専門店
補聴器センター
めいりょう
阪神御影駅前店
ご相談だけでも大歓迎です!
笑顔のスタッフが迎えます◎
神戸市東灘区御影本町2丁目17-5
タカシマビル1階(阪神御影駅から徒歩2分)
TEL.078-842-5515
営業時間9:00~18:00 定休日:木・日曜日

現吉
御影中町1丁目4-15
TEL 851-2695

SANYO AIR SERVICE CO.,LTD
地球規模の感動をお届けたい
神戸No.1の店舗ネットワーク
SAS 三洋航空サービス
http://www.travelsas.co.jp

御菓子司 常盤堂
神戸市東灘区御影中町4丁目
電話 078(851)4677番代

総合レンタル衣裳専門店
スエヒロ衣裳
ご婚礼・七五三・宮参り
成人式・卒業式・十三参り
弓弦羽神社指定店
0798-33-1814
www.rental-suehiro.com/

御影酒場
営業時間
17:00~23:00
月曜定休日
www.yume-zou.com

清酒 白鶴
時をこえ 親しみの心をおくる
辛口ひとすじ
菊正宗
神戸・灘 菊正宗酒造株式会社
菊正宗ホームページ http://www.kikumusamune.co.jp

船ふね

全国教育関係神職協議会顧問
全国熊野会鳥取県支部長
勅願葦原神社 宮司
船 上 神社 宮司



河合 鎮徳

はじめに『古事記』『日本書紀』に船が登場します。船は神様の大事な乗り物でした。『古事記』上巻「神々の生成の条」では鳥之石楠船神(とりのいはくすぶねのかみ)楠で造った丈夫な船の登場です。亦の名は天鳥船(あめのとりふね)。鳥の如く空を翔る船の神。三浦佑之氏の『口語訳 古事記』(文藝春秋社刊)には、鳥船とはまさに宇宙船であると、面白い注釈が加えられています。今回は「船」について少し考えてみたいと思います。

古代の船に思いを馳せる

私の住む鳥取県の海岸沿いから隠岐の島まで距離は六〇キロです。晴れた日には島が良く見えます。島前・島後(どうぜん・どうご)の島影に隠岐への思いをつのらせます。なんととなれば隠岐は黒曜石が眠る貴重な島だからです。黒曜石とは火山が造った天然のガラスなのです。黒く硬いこの石を鏃(やじり)にしたりナイフのようにして使用すると沢山の獲物が獲れ、また他部族との争いにも武器として優位を保てる大切なものでした。原産地の隠岐への六〇キロは命がけでした。大きな丸太を倒し、人が乗る場所を火で燃やし、削りぬきやすくします。何人かの乗り組み場所ができたなら櫂も作成し海に漕ぎ出します。

丸太舟ではありませんが、データをもとに「丸木舟」を作成し隠岐を出発し、鳥根県の七類港までの約五〇キロを十二時間四十分でわたったのが昭和五十六年の七月二十二日。比較的波の穏やかな日に達成されたことが記録として残っています。時速

千石船と山陰

私の住む鳥取県西部は中国地方で一番高い霊峰大山がそびえます。山をサンと発音するのはいわゆる「漢音」でセンと発音するのは「呉音」です。大山の周りの山は甲山(かぶとがセン)勝田ヶ山(かつたがセン)岡山県側ですが蒜山(ひるゼン)鳥取から奥にいくと氷ノ山(ひょうのゼン)など呉音の山が多いのです。その霊峰大山を目印に千石船は航行しました。司馬遼太郎が高山屋嘉兵衛のことを小説にした『菜の花の沖』にもこのくだりがあります。高山屋嘉兵衛の母は実は鳥取県の人でお墓が琴浦町大経寺にある事が判明しました。

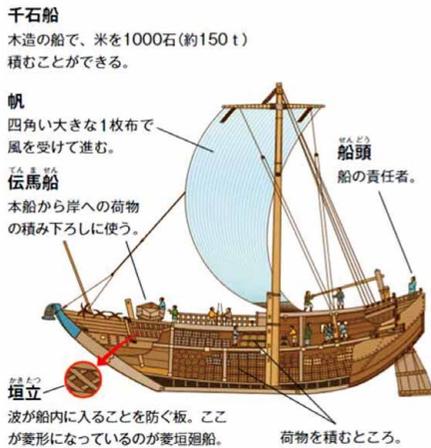
千石船にとって大事な

物は動力源となる「帆」と

停泊するための「錨」そして

方向を定める「舵」が重

要ではないでしょうか？帆を歴史的に見ると江戸時代の千石船までは布製が少なく主に蓆(むしろ)が使用されていたようです。天明五(一七八五)年、播磨国高砂の工樂(御影屋 松右衛門)によって、播州特産の綿を使った現在の帆布の原型といえる「松右衛門帆」が開発され沿岸航路の安全性区距離は飛躍的に増大しました。千石船は大変便利な輸送方法でした。たとえば千石の米を大阪から江戸へ運ぶ場合、陸上輸送では、馬が一、二五〇頭・馬子も一、二五〇人が必要で十五日の日数と宿場の泊まりや人馬の食料を計算すると大きな金額になってしまいます。千石船だと一艘だけでよく、乗組員は十五〜十六人ですみます。風に影響されませんが十日もあれば到着でき、経済的にも廉価ですみま



千石船
木造の船で、米を1000石(約150t)積むことができる。

帆
四角い大きな1枚布で風を受けて進む。

伝馬船
本船から岸への荷物の積み下ろしに使う。

垣立
波が船内に入ることを防ぐ板。ここが変形になっているのが変垣船。

三・八キロくらいの速さです。ちなみに日本海を北上する対馬海流は一ト(一、八五二キロ)で流れています。流されないように最短のコースをとろうと考えたならなかなか難しいことですね。日本海は凪いだ日が多くありません。波の高い荒れた日が多いので波は船の中に入り込み、亦、転覆の危険も併せると古代の丸木舟での航海は実に大変だったと思います。

ところで黒曜石は全国各地で産出されるものではありません。九州は長崎県の針尾島や近辺の腰岳を中心に嬉野・阿蘇や指宿、大分の姫島、中国地方は隠岐、関東は東京の神津島、信州長野の霧ヶ峰、北海道の十勝・白滝が有名です。大分の姫島黒曜石は黒くなく透明感があり、ガラスに近い感じ。関西では黒曜石が出土しないのでそれに代わるものが使用されました「サヌカイト」です。これに関しては司馬遼太郎氏の『街道をゆく』朝日文藝文庫本第一巻「竹内街道」に出てきます。司馬氏の小学生時分、母の郷里(奈良県)竹内街道の畑でヤジリ拾いをするのが楽しかったようです。ヤジリに使われていたのは黒曜石ではなくサヌカイトだったと書かれています。獣の皮と肉をきれいに洗って叩くとキンキンと音がします。余談ですがこのサヌカイトは硬くて叩くとキンキンと音がします。形は不ぞろいでも音階順にならべて木琴ならぬ石琴も面白い音がして素敵ですね。

本務社の境内から黒曜石のヤジリが！

私の本務社は二社で、両社の距離は直線距離で五百メートルほど。その両社から黒曜石の破片や鏃の不完全なものが出土します。昨年の夏(令和五年)足元に光る黒いものがあり、拾い上げると完全な形の鏃でした。県立博物館学芸員に連絡を取るとそのあたりの出土は当然との回答、そしてその鏃は野うさぎを射るためのものだそうです。神社を中心に「安田遺跡」といわれるゆえんです。灯台もとくらし。

す。この高い効率で海上輸送をさせたのです。灘や伊丹など関西のおいしいお酒や和歌山湯浅の旨い醤油が江戸に運ばれ流通し庶民の暮らしも変わってきました。

錨と舵のはなし

千石船の「いかり」は鉄を焼いて造った錨です。でも「いかり」は石偏の錨もあります。古い時代の船には石を使った錨でした。たとえばシナの文化を吸収するためにつかわされた遣唐使。その船の錨は大きな木をくりぬき、穴に石を埋め込んだ形のもの。強い綱をつけた錨は海中で木が膨張し石が益々はずれにくく、とても良い状態になります。ちなみに遣唐使船は広島県の倉橋島で造られていたようです。倉橋島の石は良い石だと評価がたかかったようで国会議事堂にも使われています。話は錨に移ります「舵」は船尾につけて方向を定める装置ですが千石船の舵は大きく、よく破損したようです。座礁して舵がこわれたという記述を見ました。千石船の長さは十五〜六メートルでしょうか。速度は風にもよりますが次回はそのことも含め船体や出航を決定するための天候の見定めに使われた山、ひより山などの話をすすめてみたいと思います。

今回の最期は船の〇〇丸の「丸号」について一言。

丸号の最古の記録は仁和寺の古文書の「坂東丸」といわれています。文治三年の文書だそうで西暦一一八七年のことです。記録はそうであって一般的にはもつと以前から使われていたと見るほうが正解でしょう。平安時代には童だけでなく愛玩の動物や器物にも「丸」をつけることが一種の流行だったようです。自分の大事な船に〇〇丸をつけたのがはやったものと思われ、琉球では丸でなく富(とみ)をつけたものも見受けられたということです。詳しくについては丸と同様に判明しないそうです。

§ 竹内街道 奈良県葛城市から竹内峠を越え大阪へ繋がる街道

司馬遼太郎の母の実家はその竹内峠のふもと竹内にあった



⑤ 中御影



⑥ 東之町



⑦ 弓場



⑧ 中之町



五月四日 地車宮入順 ①郡家



②西之町



③西御影



④平野

日記抄

一月 一日 歳旦祭
境内警備 奉仕 各地区青年会

三日 元始祭

三日 氏子地区各団体・企業
年頭祈願祭

十五日 とんど(神札・注連飾焼納)

二十四日 県旺美会・神道青年会新年会

宮司・職員出席

二十八日 春祭・地車祭 打合始

於：社務所二階大広間

三十日 神社庁神戸市支部新年会

宮司・職員出席

二月 一日 月次祭

四日 御影新春の集い

於：御影公会堂 宮司参加

十三日 澤之井 祭

二十日二十日 「兵庫県出身戦歿者沖繩慰霊祭」
兵庫県神社庁主催

於：沖繩県宮平和記念公園内
「のじぎくの塔(兵庫県)」
(糸満市摩文仁の丘)

宮司 参列

二十五日 折年祭 参列三十名

神戸拘置所教誨師会

二十六日 於：神戸拘置所 宮司 参加

三月 一日 月次祭

三月二十三日 弓弦羽神社責任役員会

(予算案等審議) 於：社務所

二十四日 平野 三星稲荷社 稲荷祭

同 西之町 富玉稲荷 稲荷祭

四月 一日 月次祭

二日 神社庁神戸市支部東灘部会

於：六甲道 きろく

宮司・職員 出席

十六日 神戸みなと繁栄祈願祭

於：神戸ポートオアシス 職員奉仕

十九日 兵庫県神道青年会神戸市支部総会

於：生田神社 祭館 職員出席

二十三日 兵庫県神道教誨師会

於：三宮 神仙閣 宮司 出席

二十四日 全国熊野会地区理事会

於：明治神宮記念館 宮司 出席

二十六日 神社庁神戸市支部顧問参与会

於：元町「赤のれん」宮司 出席



5月3日 祭典奉仕総代
左(右京幸雄氏)右(尾崎淳氏)

五月 一日 月次祭

三日 春季大祭 参列五十名

四日 地車 宮入

十二日 兼務社 西平野厳島神社春祭

十七日 神道政治連盟兵庫県本部役員会

於：兵庫県神社庁 宮司 出席



5月3日 春季大祭

六月 一日 月次祭

同 弓弦羽神社責任役員会

(決算等審議) 於：社務所

十二日 神道政治連盟中央委員会

於：本社本庁大講堂(東京)

宮司 出席

十六日 崇敬会参拝旅行

若狭彦神社・若狭姫神社

(福井県 小浜市)

三十日 夏越「大祓」

令和六年度 上期 祭礼等奉賛者御芳名

新年・祈年祭並びに春季大祭など例年特別の玉串料並びに献備品が数多く奉獻せられ、御神徳を景仰される方々によって、逐年、神威の高揚と社頭の隆昌とを仰ぎますことは御同慶にたえません。ここに御篤志の方々の芳名を録し、厚く感謝の意を表します。

Table listing names of donors and their contributions (e.g., 玉串料, 献酒, 献品, 御来賓) across various categories and locations.

令和六年 下半期行事予定



恒例 神社準備の七五三衣裳

七月 一日 月次祭

十日 兵庫県教誨師会総会・研修会 於：神戸ポートピアホテル

十四日 月釜 澤田宗弦 遠州流

十七日・十八日 県神道教誨師会 研修旅行 宮城県・宮城刑務所他

二十日 夏祭・崇敬会大祭

八月 一日 月次祭

二十八・二十九 全国熊野会総会

於：山口県山陽小野田市 熊野神社

九月 一日 月次祭

八日 月釜 泉山御流 香道

十月 一日 月次祭

十二日 兼務社 西平野厳島神社例祭

十三日 月釜 渡辺宗倫 江戸千家

十五日 例祭

十一月 一日 月次祭

十月 中 七五三 御祈祷受付

十二月 一日 月次祭

八日 月釜 守谷宗礼 裏千家

中旬 総代会

三十日 年越「大祓」除夜祭

(年末・年始行事打合せ)

新しい職員です

井澤 愛

平成十一年三月二十日生



神社責任役員・総代委嘱

任期満了により令和六年四月一日付にて左記の方々が就任されました 任期は令和九年三月三十一日迄です

【郡家】

◎福田雅弘

宇和川賢

大西勇夫

高橋義一

田中伸介

増谷充啓

【東之町】

◎柳谷茂昭

石田博司

大城代幸子

高須義之

藪野幸子

【平野】

◎和田利重

植田成久

嶋田庸嗣

下林猛

高田佳男

福永和男

保元秀太

【中御影】

◎西島徹

赤松徳子

中野瀧子

平井清美

平野裕之

山形敬直

◎印は 責任役員を兼ねる

【西御影】

◎森本建美

一原裕継

右京幸雄

小南健

田中艶子

森下貴浩

【総代会参与】

坪田三郎

藤原久

田中健彦

北田建樹